

事務事業マネジメントシート(平成24年度実績と平成25年度計画)

平成25年 7月22日更新

事務事業名		結核・精神病類抽出事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	安武 祐次
	施策	15	健康づくりの推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	原田 奈利
	基本事業	46	保険医療制度の健全な運営			所属班	国保年金班	(内線)	2139
予算科目	会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	国民健康保険法		
	国保	8	1	1	10384		成果優先度評価結果	: ⑫	
							コスト削減優先度評価結果	: -	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 24年度で終了 <input type="checkbox"/> 24年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	・疾病を分類(国保連合会委託)し市民の疾病傾向を把握し、長期的な医療費削減対策や補助金申請に使用する。 ・昭和33年に調整交付金制度が発足し国民健康保険法に設けられた制度。 ・平成20年度より後期高齢者医療制度が発足したため、75歳以上が対象から外れた。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	①診療月ごとの疾病分類、②結核・精神の病類を抽出し診療月ごとのリストを作成、③リスト1件ごとに対象レセプトを確認、④対象となるものだけを特別調整交付金として申請
【主な予算費目】	08保健事業費 01保健衛生普及費 13業務委託
【意見や要望】	結果として交付金として市に国、県から交付があるので当然これからも必要である。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 24年度実績(24年度に行った主な活動)(DO)	国保連合会にデータ作成委託。	25年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 平成24年度と同じ
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 枚	予算の主な増減の理由
→ ア 診療報酬明細書数		疾病分類業務単価の減による委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	国民健康保険特別会計	②対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位)
		→ ア 疾病分類業務等委託料 千円
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	特別調整交付金の額を適正に算定する。	③成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位)
		→ ア 結核・精神病にかかる特別調整交付金の金額 千円
*③成果指標設定の理由と25年度目標値設定の根拠		総トータルコスト全体計画 ~ 年度
国の特別調整交付金の額が成果となるため。		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	22年度実績(決算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	24年度実績(決算)	25年度目標(当初予算)	26年度予定	27年度見込	28年度見込
①活動指標	ア	枚	204,083	224,000	222,000	214,656	222,000	222,000	222,000	222,000
	イ									
	ア	千円	5,709	5,700	4,931	4,800	4,931	4,931	4,931	4,931
②対象指標	イ									
	ア	千円	82,728	64,685	70,000	81,813	70,000	70,000	70,000	70,000
③成果指標	イ									
	ア	千円								
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円	5,709	5,700	4,931	4,800	4,931	4,931	4,931
	一般財源	千円								
人件費	(A)事業費計	千円	5,709	5,700	4,931	4,800	4,931	4,931	4,931	4,931
	(A)のうち指定経費	千円	5,709	5,700	4,931	4,800	4,931	4,931	4,931	4,931
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	2	2	2	3	2	2	2	2
人件費	延べ業務時間	時間	200	200	200	140	200	200	200	200
	(B)人件費計	千円	824	807	807	569	807	807	807	807
トータルコスト(A)+(B)		千円	6,533	6,507	5,738	5,369	5,738	5,738	5,738	5,738

事務事業名	結核・精神病類抽出事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	-------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部（SEE）

*原則は24年度の後評価、ただし複数年度事業は24年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①24年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②25年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 前年度並みのため。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 現状維持が大事。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業が無いため統廃合できない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の事業費のため削減の余地はない。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 嘱託職員をフルに活用している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が行う範囲であるため、移行できない。

3 評価結果の総括（SEE） ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

この事業の実施により適正な特別調整交付金の算定ができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（PLAN）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（有効性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（効率性改善） <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善（公平性改善） <input type="checkbox"/> 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																					